NIE実践報告

1．タイトル：☆伝え合って考えよう

2．学校名

鹿児島県さつま町立佐志小学校

3．実践者名（代表者名）

松岡高史

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　7人

6．単元（本時の学習課題）名

伝え合って考えよう

7．目標(狙い)

身近なごみ問題について、新聞や本を使って調べ発表し、発表会を通じて深まった考えを文章にしてまとめる。

8．評価の視点

自分の考えと他の考えとを対比しながら文章全体を組み立てることができたか。自分の体験や知識と自分が考えた意見を区別して書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

伝え合って考えよう（教科書教材：光村図書）15時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教材文「人とものとの付き合い方」を読み、単元全体の見通し、どのような学習をするのか捉える。(1時間)
②人とごみとの付き合い方について考える。（4時間）
　・教材、新聞、本を使って自分のテーマを決める。
③分かったこと、思ったことを書き出し、発表資料を作る。（6時間）
④調べたことを発表する。（1時間）
⑤自分の調べたことや友だちの発表を聞いて考えたことを、文章にまとめる。（3時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

身近な話題のため、興味関心も高く、資料も容易に手に入れることができたため、とても充実した学習ができた。環境問題は総合的な学習の時間でも関連していたので、事実と意見を区別して書くことができた。

12．成果と課題

①成果
　新聞記事を活用したことによって、旬の話題を取り上げることができた。
　新聞記事を基に、自分の考えを入れた壁新聞や発表原稿ができ、分かりやすかった。
　発表資料を作成するとき、新聞をレイアウトの参考にし、分かりやすいものを作ることができた。
②課題
　新聞を記事を選ぶのに時間がかかった。教師がもっと記事を精選して子どもに与えればよかった。